

# 健康にしあわくら21計画 取組一覧

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
楽しく美味しく健康に食べることができる	ふるさと元気給食	託児所 幼稚園 小学校 中学校	ふるさと西粟倉の豊かな自然や人に学び、人間力を高め、ふるさと西粟倉を元気にする「ふるさと元気学習」の一つ。子どもたちの成長に大きな影響を与える“食”について、学校給食を提供するだけでなく、食育活動を通してふるさと食材や生産者に学ぶ取組みを行い、ふるさとを味わうことで心も体も元気な子どもたちを育む。	既存	託児所 幼稚園 小学校 中学校 教育委員会	教育振興計画 子ども計画
	学校給食だよりの発行	託児所 幼稚園 小学校 中学校	ふるさと元気給食の取組、食材や調理、食べ物の選び方など、食全般について食育に関わる情報を伝え、心も体も元気な子どもたちを育む。	既存	託児所 幼稚園 小学校 中学校 教育委員会	教育振興計画 子ども計画
	ヘルスポランテニア委員会による食育活動	乳幼児 保護者 幼稚園 小学校	ヘルスポランテニア委員が、住民の健康の保持増進を図り健康づくりの支援を行う。 小児科健診、子育て研修会などに参加し離乳食指導のサポートなどを行う。 幼稚園、小学校と協働で食育の推進を図る活動を行う。親も含む大人には減塩、バランス良く食べようの推進(味噌汁の試飲、塩分測定など)などを行う。	既存	ヘルスポランテニア委員会 保健福祉課	子ども計画
	学校農園の収穫体験・収穫祭	託児所 幼稚園 小学校 中学校	種や苗の植え付け、収穫までの作業を子どもたちが行い、食物を作る喜びと困難さを体験することを通して、食物の大切さを学ぶ。	既存	託児所 幼稚園 小学校 中学校 教育委員会	教育振興計画 子ども計画
	地域学校保健委員会・養護部会による食育活動	乳幼児 託児所 幼稚園 小学校 中学校	地域学校保健委員会では、2年ごとに重点テーマを設定し、学校医、学校歯科医師、薬剤師、託児所、幼稚園、小学校、中学校、教育委員会、PTA、母子保健と連携し、子どもの健康の保持増進に関わる重点テーマを設定し課題解決の活動を連携して行う。これまでのテーマ：朝食と生活リズムの意識づくり 養護部会は、幼稚園、小学校、中学校の養護教諭、教育委員会、保健福祉課が子どもたちの健康づくりについて課題解決を連携して行う。地域学校保健委員会の推進機能ももつ。	既存	託児所 幼稚園 小学校 中学校 教育委員会 保健福祉課	教育振興計画 子ども計画
	手作り小学校おやつ教室	小学校	ヘルスポランテニア委員会による食育活動の一つ。小学校と協働で、栄養・咀嚼を考慮したおやつを子どもたちと手作りすることで、おやつの摂り方を小学生に学んでもらう。	既存	ヘルスポランテニア委員会 小学校 保健福祉課	子ども計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
楽しく美味しく健康に食べることができる	健康カレンダー(旬の地元食材の紹介)(好きな郷土料理や食べ物の紹介)(栄養の摂り方)	全住民	健康カレンダーの各月の記事に、各月の旬の地元食材や郷土料理の良さを紹介し、若い世代に地元食材や郷土料理を伝え、家庭や地域の食文化の伝承に活かす取組を行う。また、各月の季節に応じた食事で、よい栄養バランスと生活リズムでの食事の摂り方を伝える。	既存	保健福祉課	
	男性料理教室	働き盛り、高年齢の男性	男性が食事をつくる力をつけるために、実習を交え料理を学ぶ。ヘルスボランティア委員会による取組が中心となっている。	既存	ヘルスボランティア委員会 保健福祉課	
	地区サロンでの健康学習	高齢者	地区サロンで、村の食文化や旬の食材を若い世代に伝える大切さを伝え、伝え方を考える取組を行う。	既存	保健福祉課 社会福祉協議会	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	地区サロンでの共同調理と食会支援	高齢者	地区サロンで、共同での献立づくり、調理、会食などへの支援を行い、地区でのつながりづくり、互いの見守り、食事をおろそかにしない意識づくりを行う。	既存	保健福祉課 社会福祉協議会	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	生活応援センター楽々事業「食生活支援」	全住民	主に高齢者が、食材の用意や調理で困難な時に、ボランティアが支える取組。ボランティアの発掘、学習支援、利用者とのマッチングなどボランティアセンターの機能をもつ。	既存	社会福祉協議会	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	配食弁当事業	高齢者	食事づくりが困難になった高齢者に、有料で弁当を届け、併せて見守りを行う取組。	既存	社会福祉協議会	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	社会福祉協議会事業(ロマン会)での食会	高齢者	独り暮らし高齢者の会(ロマン会)と連携し、紹介や共同で食事を食べる機会を提供する。	既存	社会福祉協議会	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	離乳食教室	乳幼児の親 妊婦	妊娠から1歳ごろまでの父母を対象に、子どもの成長に合わせた離乳食の与え方の教室を行う。将来的に好き嫌いなくバランスよく食べられるようになることも意図する。	既存	保健福祉課	子ども計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
楽しく美味しく健康に食べることができる	小児科健診での栄養相談	乳幼児の親	小児科健診の中で栄養士により、乳幼児の親に、授乳、離乳食、幼児期の食事・間食について、リズム、食材、固さ、調理方法など、子どもの成長に合った栄養相談と離乳食などの試食を行う。	既存	保健福祉課	子ども計画
	妊産婦への訪問・面接による栄養相談 乳児訪問による離乳食相談	妊産婦 乳幼児の親	妊産婦、乳児のいる家庭に訪問又は面接し、妊娠・育児の相談の一つとして、妊産婦自身の栄養の摂り方、乳児の離乳食について相談を行う。	既存	保健福祉課	子ども計画
	幼児家庭訪問・面接による栄養相談	幼児の親	子どもの成長、栄養摂取に課題がある場合、保健師・栄養士等が訪問面接し、栄養指導、相談支援を行う。	既存	保健福祉課	子ども計画
	中学生ふれあい体験学習	中学生	中学生が乳幼児とその親や幼稚園児とふれあう活動を通して、将来、親になるための学習を行う中で、家庭での父母の助け合い、子育てにおける健康づくりについて学ぶ。	既存	保健福祉課 中学校 教育委員会	教育振興計画 子ども計画
	ふれあいまつりによる食の展示	全住民	ヘルスポランテニア委員会により、ふれあいまつりで、よい栄養バランス、カロリー、塩分の摂り方を展示し、健康な食事の摂り方を広く普及啓発する。	既存	ヘルスポランテニア委員会 保健福祉課	子ども計画
	総合健診での栄養相談	働き盛り 高齢者	総合健診で、健診結果に基づき栄養相談を行い、食事の摂り方を改善する。	既存	保健福祉課	
	診療所の健診(塩分摂取量検査を含む)	働き盛り 高齢者	個人のスケジュールに併せた日程で、主治医のもと健診を受ける。健診結果に基づき健康相談を受け、食事の摂り方を改善する。	既存	診療所 保健福祉課	
	みそ汁の塩分濃度測定	働き盛り 高齢者	総合健診、地区サロンなどでみそ汁の塩分濃度測定、基準の塩分量のみそ汁との比較を行い、家庭の塩分量の改善を図る。離乳食教室や子育てカレッジでの塩分濃度測定の実施も検討していく。	既存	ヘルスポランテニア委員会 保健福祉課	

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
楽しく美味しく健康に食べる ことができる	健診結果相談会	働き盛り 高齢者	総合健診、診療所健診の結果に基づき、生活習慣の改善について相談を行う。	既存	保健福祉課	
	栄養士による栄養相談	働き盛り 高齢者	生活習慣病について、健診結果で指摘を受けた人や、診療所で治療中の人について、栄養士による栄養相談を行い、食事の摂り方を改善する。	既存	診療所 保健福祉課	
	特定保健指導	働き盛り 高齢者	特定健診の結果、生活習慣病になり始めた人に対し、6ヶ月以上の保健指導を行う。	既存	保健福祉課	
	マイナス5歳教室	働き盛り 高齢者	総合健診、診療所健診の結果、生活習慣病になりかけていることが判明した人に、栄養・運動に関わる相談・学習・実習の教室を連続で設け、生活習慣の改善を図る。	既存	保健福祉課	
	保健師・看護師による健康相談	働き盛り 高齢者	総合健診、診療所健診の結果、生活習慣病になりかけていることが判明した人に、保健師・看護師による健康相談を行い、生活習慣の改善を図る。	既存	保健福祉課	
	診療所と連携した健康相談	働き盛り 高齢者	診療所で生活習慣病を治療している人のうち、生活習慣の改善を要する人に、診療所及び保健福祉課が連携して健康相談を行う。	既存	保健福祉課	
	特定健診受診勧奨	働き盛り 高齢者	特定健診対象者(国保40歳～74歳)に、特定健診の受診勧奨を行う。希望調査、問診票と健診案内の送付、ヘルスボランティア委員による訪問勧奨、未受診者への受診勧奨などを重層的に行う。	既存	保健福祉課	
	特定健診データ取得事業	働き盛り 高齢者	特定健診の未受診者のうち、医療機関に通院治療している人について、本人同意を得たうえで、医療データ及び追加検査による検査値を、医療機関から村に提供してもらう事業。	既存	保健福祉課	

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
楽しく美味しく健康に食べることができる	社保被扶養者の村健診受診、保健事業の適用	働き盛り 高齢者	特定健診委託医療機関と契約している社保の被扶養者について、村の特定健診を受けられる機会を提供する。健診の結果データを村に提供してもらい、村の保健事業も利用してもらおう。	既存	保健福祉課	
	データヘルス計画の実施	働き盛り 高齢者	国保医療、健診、介護のデータを分析し、脳血管疾患の発症予防を重点課題とした西栗倉村データヘルス計画を、平成27年度に策定した。この計画を健康あわぐら21計画の一部として実施していく。	既存	保健福祉課	
	村内事業者による弁当販売、配達	高齢者	食事づくりが困難になった高齢者に、村内事業者が、弁当を配達する取組。	既存	村内事業者	
	事業者による食材配達	高齢者	村内外の事業者により、食材を高齢者の自宅まで配達する取組。	既存	事業者	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	社協買い物物ツア―	高齢者	自分では買い物に行けない高齢者に、自動車による送迎で、買い物の便宜を図る取組。	既存	事業者	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	子育てカレッジによる食の学習	妊産婦 乳幼児の両親 妊娠前の夫婦	これから出産予定の男女や乳幼児を持つ親が、妊娠中から育児以降まで親子が健康な生活習慣をもてるように栄養バランスなど食に関わる学習を行う。	既に予定	保健福祉課 教育委員会	子ども計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
生涯を通じて 歯・口と心身の 健康づくり ができる	小児歯科検診	乳幼児	子どもの虫歯予防のため、歯科検診、フッ素塗布、ブラッシング指導を行う。 1歳前から幼稚園入園前の幼児。年2回実施。	既存	保健福祉課	子ども計画
	小児歯科検診での親の検診	乳幼児の親	乳幼児の親に、歯科医師により歯科検診、歯科衛生士による歯磨き・おやつの摂り方などの相談支援を行うことで、家庭全体で歯と口の健康づくりができるようにしていく取組。	既存	保健福祉課	子ども計画
	小児科健診での歯科学習会	乳幼児 親	小児科健診の時に、歯科学習のコナーを設け、歯科衛生士により、虫歯・歯肉炎の予防について、親と子への学習を行う。	既存	保健福祉課	子ども計画
	歯の健康相談・フッ素塗布	2歳から小学 校3年生の子 ども 保護者	歯科医師による歯科診察、歯科衛生士によるフッ素塗布と虫歯予防の学習を、親子に行う。年1回実施。	既存	勝英歯科医師 会 岡山県歯科衛 生士会 美作市健康づく り推進課 保健福祉課	子ども計画
	妊産婦・乳児・幼児への訪問・面接	妊産婦 乳児 幼児	妊産婦、乳児及び幼児への訪問・面接により、虫歯・歯肉炎の予防について、相談支援を行う。幼児については、歯科検診などで虫歯・歯肉炎の予防が不十分な場合、対象とする。	既存	保健福祉課	子ども計画
	地域学校保健委員会・養護部会による歯と口の健康づくり	乳幼児から 中学生まで の 子どもと親	学校保健の関係者で連携活動の場となる地域学校保健委員会・養護部会において、平成27,28年度は重点テーマとして「歯と口の健康づくり」を実施。むし歯・歯肉炎の予防の仕方、食べ物の摂り方、五感を使っの味わい方などを授業、体験、給食で学ぶ。	既存	託児所 幼稚園 小学校 中学校 教育委員会 保健福祉課	教育振興計 画 子ども計画
	学校での歯科検診、相談	幼稚園から 中学校まで の 子ども	学校歯科医による歯科検診と養護教諭による受診勧奨、子ども・親への相談などを行う。	既存	教育委員会	

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
生涯を通じて 歯・口と心身の 健康づくり ができる	歯と口の健康週間の取組	全村民	毎年6月に「歯と口の健康週間」として歯と口の健康づくりの普及啓発運動が全国的に展開される。国の目標「8020運動」、岡山県の目標「3歳児のむし歯の有病率を20%以下にする320運動、12歳児の平均むし歯本数を1本以下にする1201運動、8020運動」に併せ、村でも取組を行っている。	既存	保健福祉課 教育委員会	
	歯と口の健康づくり事業「キラッと輝く子どもの歯と笑顔」	学齢期の子ども	学齢期の子どもものむし歯と歯周病の予防を地域全体で取り組むために、学齢期歯科保健関係者の会議、学校での教育資材の作成、出前講座、リーフレットによる普及啓発活動を行う。	既存	美作保健所	子ども計画
	総合健診における希望者への の歯科検診の実施	働き盛り 高齢者	総合健診の中で、日曜日に歯科医師・歯科衛生士による歯科検診と歯磨き指導の機会を設け、希望者を実施する取組。	既存	保健福祉課	
	PTA活動での「歯と口の健康 づくり」研修会	幼稚園 小学校 中学校 親	幼稚園、小学校、中学校でのPTA活動の一つに、「歯と口の健康づくり」について研修会を行い、家庭でのむし歯・歯肉炎の予防を図る。	既存	幼稚園 小学校 中学校 教育委員会 保健福祉課	教育振興計 画 子ども計画
	口の介護予防教室	高齢者	高齢者の口腔機能の向上と清潔保持のために歯科衛生士による個別の教室を行う。	既存	保健福祉課	高齢者保健 福祉計画 介護保険事 業計画
	口の教室卒業生教室	高齢者	セルフケアの継続と口腔機能の向上と清潔の維持増進のための教室。	既存	保健福祉課	高齢者保健 福祉計画 介護保険事 業計画
	地区サロンでの歯と口の健康学習	高齢者	高齢者の口腔の健康と歯科治療費の抑制のため、口腔機能の向上と清潔についての知識を習得する。	既存	保健福祉課	高齢者保健 福祉計画 介護保険事 業計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
生涯を通じて 歯・口と心身の 健康づくり ができる	歯科医師の訪問診察	高齢者	寢たきりなどで受診できない人から依頼を受けた場合、勝英歯科医師会に所属する近隣の歯科医が訪問診察する。	既存	勝英歯科医師会	
	子育てカレッジ「歯と口の健康学習」(妊産婦、両親、妊娠前の夫婦、祖父母、地域ボランティアなど)	妊産婦 乳幼児の両親 妊娠前の夫婦 祖父母 地域ボランティア	これから出産予定の男女や乳幼児を持つ親が、妊娠中から育児以降まで親子が健康な生活習慣をもてるように歯と口の健康づくりに関わる学習を行う。祖父母は、孫や親に、地域ボランティアは身近な親子に、歯と口の健康づくりを勧めるよう基本的な知識の学習機会を設ける。	既に予定	保健福祉課 教育委員会	子ども計画
	8020運動(8020表彰式)	高齢者	80歳になっても自分の歯を20本以上保とうという運動。生涯にわたり自分の歯でものを噛むことを目標とし、8020達成者を増やし、達成者の表彰を行う。	既に予定	保健福祉課	

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
お酒を末永く楽しみ、喫煙の影響を減らし、健康な生活を送ることができ	健康カレンダー	全村民	飲酒・喫煙がもたらす心身の影響と、適切な飲み方、禁煙の仕方・支え方を親子に伝える。そのための記事を健康カレンダーに掲載する。	既存	保健福祉課	
	自立支援医療を活用したアルコール依存症の治療	働き盛り高齢者	自立支援医療は、精神障害の通院治療費について、自己負担額が、原則1割までとなる制度。この制度を利用し、アルコール依存症の治療を受けてもらう。	既存	保健福祉課	障害者計画
	健診結果相談	働き盛り高齢者	健診結果に基づき、生活習慣の改善について相談支援を行う。健診当日、結果相談会、随時相談などがある。	既存	保健福祉課	
	妊婦訪問、妊娠届時の面接	妊産婦	妊産婦への訪問・面接により、飲酒・喫煙がもたらす心身の影響と適切な飲み方について、妊婦に伝える。	既存	保健福祉課	子ども計画
	お酒の悩み相談(断酒会)	働き盛り	津山断酒新生会が相談日を設け、飲酒に関するあらゆる悩みの相談を受けらる。	既存	津山断酒新生会 保健福祉課	
	禁煙外来(診療所)をより広く啓発	働き盛り高齢者	診療所の禁煙外来を村内に広く知らせ、利用を勧めることで、禁煙の実施者を増やす。	既存	診療所 保健福祉課	
	公共施設での禁煙・分煙の推進	働き盛り高齢者	公共施設での禁煙・分煙を進める。	既存	保健福祉課	

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
ライフステージに応じた日常的に楽しく体を動かすことができる	スクールバスの乗降場所を変更して、通学方法を見直す	小学生 中学生	スクールバス通学になり歩く距離が減少したため、バスの乗降場所を検討して歩く距離を伸ばす。	既存	教育委員会	
	幼稚園での運動能力専門研修	幼稚園児	幼少期に楽しく運動能力を向上するための専門家派遣を行う。幼稚園での取組の継続、小学校低学年での取組導入も検討していく。	既存	幼稚園 小学校 教育委員会 保健福祉課	子ども計画
	レッツウォーキング事業	全住民	子ども・大人・高齢者が健康づくりの一環としてウォーキング大会を実施することで、ウォーキングの機運を高め、習慣づけるきっかけとする。	既存	保健福祉課 教育委員会 社会福祉協議会	
	「あわくらの散歩道」ウォーキングマップの活用	全住民	ウォーキングの機運を高め、子ども・大人・高齢者が健康づくりの一環としてウォーキングを習慣づけるきっかけとするために、12地区のウォーキングマップを作成して全戸配布した。今後は活用方法を検討する。	既存	保健福祉課 教育委員会	
	高齢者における既存の事業の推進	高齢者	グラウンドゴルフ・囲碁ボール・ゲートボールなど高齢者に親しみやすいスポーツ活動を推進する。	既存	社会福祉協議会 教育委員会 保健福祉課	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	運動に関わる健康づくり検討会	全住民	専門職（健康運動指導士）の助言を得ながら、運動の関係機関で、生涯を通じて運動できる環境や取組の検討し実施する。住民・関係機関との話し合いも行う。	既存	保健福祉課 教育委員会 社会福祉協議会	子ども計画
	地域学校保健委員会、養護部会での運動の啓発	乳幼児 託児所 幼稚園 小学校 中学校	地域学校保健委員会では、2年ごとに重点テーマを設定し、学校医、学校歯科医師、薬剤師、託児所、幼稚園、小学校、中学校、教育委員会、PTA、母子保健と連携し、子どもの健康の保持増進に関わる重点テーマを設定し課題解決の活動を連携して行う。 これまでのテーマ：「遊びや日常の生活の中で楽しく、積極的に運動する活力ある子供の育成」 養護部会では、幼稚園、小学校、中学校の養護教諭、教育委員会、保健福祉課が子どもたちの健康づくりについて課題解決を連携して行う。	既存	託児所 幼稚園 小学校 中学校 教育委員会 保健福祉課	教育振興計画 子ども計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
ライフステージに応じた日常的に楽しく体を動かすことができる	体力測定大会の開催	全村民	子ども・大人・高齢者が集まり、各種の運動機能の測定を行い、総合的な体力を測る。各個人が体力の経年変化をみて、その年度にどんな運動に取り組むか考える材料にする。	既存	保健福祉課 教育委員会 社会福祉協議会	教育振興計画 子ども計画
	幼小中合同運動会の開催	乳幼児 託児所 幼稚園 小学校 中学校 親 高齢者	子どもから高齢者まで家族・地域で楽しく参加でき運動することができる。	既存	保健福祉課 教育委員会	教育振興計画 子ども計画
	あわくら大学、地区サロンで健康学習の実施	高齢者	高齢者の下肢筋力低下予防として、あわくら大学や地区サロンを利用して、自宅での継続的な運動ができるように運動支援を行う。	既存	保健福祉課 社会福祉協議会	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	65歳の会「ろくご会」で筋力保持の教育	高齢者	「65歳」を高齢期の入り口と捉え、高齢期の新たな健康づくりを始めめるきっかけをつくる。併せて、後期高齢者を支える意識づくりとなる取組を行う。	既存	保健福祉課	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	地区サロンでの健康学習 中央サロン・地区サロンでの運動の推進	高齢者	高齢者の下肢筋力低下予防として、地区サロンを利用して、自宅での継続的な運動ができるように運動支援を行う。	既存	保健福祉課 社会福祉協議会	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	通学支援ボランティアの推進	高齢者	小学生の通学の安全を確保するためにボランティアに運動の通学支援をすることで、高齢者が定期的に運動できる。	既存	託児所 幼稚園 小学校 中学校 教育委員会	教育振興計画 子ども計画
	介護予防事業 介護サービス事業	高齢者	個別リハビリ、リハビリ教室へ参加して運動を行う。通所介護サービスで、体操やレクリエーションにより、運動支援を行う。	既存	保健福祉課 社会福祉協議会	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
ライフステージに応じた日常的に楽しく体を動かすことができる	多様な運動クラブの選択ができるようにする	子ども 親	多様な運動クラブの活動を子どもや親に紹介するなどして、参加するクラブを選択できるようにする(あわくら探検クラブ、スポーツ少年団、チャリーディング等)	既存	教育委員会 保健福祉課	
	中学生部活動	中学生	中学校の部活動としてバレーボール、卓球、陸上がある。生涯スポーツの入り口として、仲間と励ましながら、技能の向上や目標達成に向けて頑張ることなどのスポーツの楽しさを体感する活動を行う。	既存	教育委員会 中学校	
	おもりの体操教室	高齢者	体力に合わせて重さを選べる錘を手首、足首に取り付けて体操を行う教室。運動機能の維持向上に役立つ筋力トレーニングを行う。	既存	保健福祉課	高齢者保健 福祉計画 介護保険事 業計画
	健診結果相談会	働き盛り 高齢者	総合健診、診療所健診の結果に基づき、生活習慣の改善について相談を行う。	既存	保健福祉課	
	特定保健指導	働き盛り 高齢者	特定健診の結果、生活習慣病になり始めた人に対し、6ヶ月以上の保健指導を行う。	既存	保健福祉課	
	スポーツ推進委員との協働事業	全村民	スポーツ推進委員は、教育委員会から委嘱を受け、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う。そのスポーツ推進員、住民有志、行政と共に、スポーツの普及・推進について、話し合い、活動を行う。	既存	スポーツ推進 委員会 教育委員会 保健福祉課	教育振興計 画 子ども計画
	体育協会の活動支援	働き盛り 高齢者	村内の体育・スポーツに関わる団体が集まり、自らの体育・スポーツ活動だけでなく、体育・スポーツの普及振興に関する事業を行い、村民の体力向上を図る。	既存	教育委員会	教育振興計 画 子ども計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
ライフステージに応じた日常的に楽しく体を動かすことができる	子育てカレッジによる親子一緒に体を動かす運動や遊びの学習会	妊産婦乳幼児の両親 妊娠前の夫婦 祖父母 地域ボランティア	これから出産予定の男女や乳幼児を持つ親が、妊娠中から育児以降まで健康な生活習慣をもてるように親子一緒に身体を動かす運動や遊びを学ぶ。	既に予定	保健福祉課 教育委員会	子ども計画
	運動の必要性を啓発するための講演会	全村民	運動に関心はあるが実行できない人、日常生活のなかで継続的な取り組みができない人、特に30代～50代を対象に講演会を開催して運動を習慣づけるきっかけとする。	既に予定	保健福祉課 教育委員会	
	多様な運動・スポーツの機会・場・環境整備の検討会	全村民	村民誰もが、自分のしたいスポーツを始め、続けることのできる機会、場所、器具、トレーナー、運動指導士などの環境、取組を検討する。	既に予定	スポーツ推進委員有志 教育委員会 保健福祉課 社会福祉協議会	

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
<p>身体の状態を判断し、健康管理をすることができる</p>	妊婦・乳児一般健康診査依頼票の交付	妊婦	全妊婦に対し、母子保健ガイドを交付し、妊婦健診14回分、乳児健診2回分の健診を無料で実施できるよう、母子手帳交付の時の妊婦及び転入者に対し母子保健ガイドを交付している。	既存	保健福祉課	子ども計画
	妊産婦訪問・面接	妊産婦 乳幼児の親	妊産婦、乳児のいる家庭に訪問又は面接し、妊産婦の健康管理について相談を行う。	既存	保健福祉課	子ども計画
	小児科健診による健康相談・教育	乳幼児の親	小児科健診の中で医師・栄養士・心理士・歯科衛生士・保健師により、親と乳幼児の心身の健康について、食・生活リズム・衛生・心理など広範囲の視点から相談支援と健康教育を行う。	既存	保健福祉課	子ども計画
	小児歯科検診による歯と口の健康相談・教育	乳幼児 親	子どもの虫歯予防のため、歯科検診、フッ素塗布、ブラッシング指導、予防と治療に関わる相談・教育を行う。1歳前から幼稚園入園前の幼児。年2回実施。親も希望者には子ども同様に、歯科検診、ブラッシング指導などを行う。	既存	保健福祉課	子ども計画
	離乳食教室	乳幼児の親 妊婦	妊娠期から1歳ごろまでの父母を対象に、子どもの成長に合わせた離乳食の与え方の教室を行う。将来的に好き嫌いなくバランスよく食べられるようになることも意図する。	既存	保健福祉課	子ども計画
	乳幼児訪問による親子への健康相談	乳児 幼児	乳幼児への訪問により、子どもが健康に育つための子育てについて、相談支援を行う。子どもが健康に親が不安をもつ場合も対応していく。	既存	保健福祉課	子ども計画
	地域学校保健委員会・養護部会による ・子どもの健診と結果を活かす取組 ・村の健康課題に応じた保護者への取組	乳幼児 託児所 幼稚園 小学校 中学校	地域学校保健委員会では、2年ごとに重点テーマを設定し、学校医、学校歯科医師、薬剤師、託児所、幼稚園、小学校、中学校、教育委員会、PTA、母子保健と連携し、子どもの健康の保持増進に関わる重点テーマを設定し課題解決の活動を連携して行う(重点テーマ：生活リズム、朝食、運動、歯と口)。養護部会は、幼稚園、小学校、中学校の養護教諭、教育委員会、保健福祉課が子どもたちの健康づくりについて課題解決を連携して行う。地域学校保健委員会の推進機能も持つ。この重点テーマに関わる取組、乳幼児健診・学校園での健診の結果を学校園又は家庭で活かす取組、村の健康課題からみた生活習慣の改善について子どもと保護者へ働きかける取組を行う。	既存	託児所 幼稚園 小学校 中学校 教育委員会 保健福祉課	教育振興計画 子ども計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
身体の状態を判断し、健康管理をすることができる	健康カレンダーによる健康管 理の普及啓発	全村民	健康カレンダーの各月の記事に、健康管理の大切さ、コツ、上手にしている人の紹介などをして、健康管理の意識啓発を行う。	既存	保健福祉課	
	データヘルス計画の実施(医療 健診データの分析による 疾病・生活課題の特定と解 決)	全村民	国保医療、健診、介護のデータを分析し、脳血管疾患の発症予防を重点課題とした西栗倉村データヘルス計画を、平成27年度に策定した。この計画を健康にしあわぐら21計画の一部として実施していく。	既存	保健福祉課	
	ヘルスボランティア委員によ る健診受診の勧め	働き盛り	ヘルスボランティア委員により特定健診、がん検診の受診の勧めを行う。主に40歳代、50歳代に勧めている。	既存	ヘルスボラン ティア委員会 保健福祉課	
	健診未受診者への受診勧奨	働き盛り 高齢者	特定健診の未受診者に対し、総合健診、医療機関の健診を受診するよう勧める取組。 がん検診の未受診者に対しても、年に1度の検診受診を勧める。	既存	保健福祉課	
	村の総合健診	働き盛り 高齢者	30歳代・特定・高齢者の基本的な健診と各種がん検診を行う。受診者には、健診結果に基づき、医療・精密検査の受診、生活習慣の改善を図ってもらう。健診結果を活かすための結果相談も行う。	既存	保健福祉課	
	診療所の健診(塩分摂取量検査含む)	働き盛り 高齢者	個人のスケジュールに併せた日程で、診療所の主治医のもと健診を受ける。健診結果に基づく健康相談を受け、食事の摂り方を改善する。	既存	診療所 保健福祉課	
	医師会の委託健診	働き盛り 高齢者	近隣の医師会に、特定健診、高齢者健診等を委託し、かかりつけの医療機関で健診を受けることができる。かかりつけ医のもと、健診結果を活かした生活改善をはかることができる。	既存	医師会 (美作市医師 会、勝田郡医 師会) 保健福祉課	

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
身体の状態を判断し、健康管理をすることができる	特定健診データ取得事業	働き盛り高齢者	特定健診の未受診者のうち、医療機関に通院治療している人について、本人同意を得たうえで、医療データ及び追加検査による検査値を、医療機関から村に提供してもらう事業。	既存	保健福祉課	
	がん検診の節目年齢の無料化による受診勧奨	働き盛り高齢者	がん検診のうち、節目年齢の人の検診費用を無料にすることで、検診受診きっかけをつくる。	既存	保健福祉課	
	健診結果相談会	働き盛り高齢者	総合健診、診療所健診の結果に基づき、生活習慣の改善について相談を行う。	既存	保健福祉課	
	特定保健指導	働き盛り高齢者	特定健診の結果、生活習慣病になり始めた人に対し、6ヶ月以上の保健指導を行う。	既存	保健福祉課	
	マイナス5歳教室	働き盛り高齢者	総合健診、診療所健診の結果、生活習慣病になりかけていることが判明した人に、栄養・運動に関わる相談・学習・実習の教室を連続で設け、生活習慣の改善を図る。	既存	保健福祉課	
	診療所と連携した健康相談による生活習慣病の改善支援	働き盛り高齢者	診療所で生活習慣病を治療している人のうち、生活習慣の改善を要する人に、診療所及び保健福祉課が連携して健康相談を行う。	既存	保健福祉課	
	栄養士・保健師・看護師による健康相談	働き盛り高齢者	総合健診、診療所健診の結果、生活習慣病になりかけていることが判明した人に、栄養士・保健師・看護師・看護師による健康相談を行い、生活習慣の改善を図る。	既存	保健福祉課	
	診療所の医療相談	全村民	医師との連携を充実させ、病気や育児に関する相談体制を充実させる。電話や窓口で病気・予防接種などの相談に対し、医師の判断が必要とされる場合、医師に連絡し判断を仰ぐことで、いつでも相談し対応してもらえ安心感を持って貰う。	既存	診療所	子ども計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
身体の状態を判断し、健康管理をすることができる	社保被扶養者の村健診受診、保健事業の適用	働き盛り 高齢者	特定健診委託医療機関と契約している社保の被扶養者について、村の特定健診を受けられる機会を提供する。健診の結果データを村に提供してもらい、村の保健事業も利用してもらおう。	既存	保健福祉課	
	診療所による服薬支援	高齢者	物忘れなどで服薬を忘れがちな高齢者一人一人に、診療所が、薬の出し方（日数、分包、説明など）を工夫して渡し、服薬が確実にできるように図る取組。	既存	診療所	
	在宅医療・介護連携推進事業	高齢者 医療機関 在宅介護事業所	在宅医療と介護を要する高齢者に対し、医療と介護と行政とが、多職種連携してより手厚く支援する体制をつくる取組。	既存	美作市高齢者福祉課 美作市医師会 診療所 保健福祉課	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	地区サロンでの健康教室	高齢者	地区サロンで、医療、健診の結果を活かした生活習慣の改善、健康づくりに役立つ運動や食事の摂り方の教室を行い、高齢者が家庭で健康管理をできるようにしていく取組。	既存	保健福祉課 社会福祉協議会	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	地域包括支援センター訪問による健康相談	高齢者	地域包括支援センターの職員が、基本チェックリストで該当となった人に訪問し、健診結果などを踏まえた健康相談を行う。	既存	地域包括支援センター 保健福祉課	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	社協ミニヘルパー訪問による健康観察	高齢者	社会福祉協議会の見守り専門のヘルパーが高齢者が高齢者宅を訪問し、健康状態を観察、異常がある場合には、保健福祉課と診療所と連絡し、連携した支援を行う。	既存	社会福祉協議会 保健福祉課 診療所	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	<b>子育てカレッジによる妊産婦、両親、妊娠前の夫婦、祖母、地域ボランティアへの健康教育</b>	妊産婦 乳幼児の両親 妊娠前の夫婦 祖母 地域ボランティア	これから出産予定の男女や乳幼児を持つ親が、妊娠中から育児以降まで親子が健康な生活習慣をもち健康管理できるように学習を行う。祖母は、孫や親に、地域ボランティアは身近な親子に、健康づくりに勤めるよう基本的な知識の学習機会を設ける。	既に予定	保健福祉課 教育委員会	子ども計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
心も体も休養 できる	小児科健診での保健相談 妊産婦・乳児訪問	妊婦 乳幼児の親	乳幼児を持つ親に、健診や訪問時に、生活リズムのつくり方、良好な運動と睡眠の意義と習慣のつくり方、親子のふれあいの大切さとふれあい方を伝えたり、相談する。	既存	保健福祉課	子ども計画
	バンビ、ぽんぽこでの親子のふれあい運動	乳幼児 親	体重測定の場合を活用して乳幼児期の親子とスキンシップなど運動を行ったり、学習したりすることで親子のふれあいを深める。	既存	保健福祉課 教育委員会	
	小学校の休み時間の外遊びの推進	子ども	昼しかりからだを動かすことが夜間の良い睡眠につながり、心も体も休むことが出来る。そのため、休み時間は外で遊ぶ習慣をつける。	既存	教育委員会	教育振興計画
	中学生部活動	中学生	中学校の部活動としてバレーボール、卓球、陸上がある。生涯スポーツの入り口として、仲間と励ましあいなから、技能の向上や目標達成に向けて頑張ることなどのスポーツの楽しさを体感する活動を行う。	既存	教育委員会 中学校	
	多様な運動クラブの選択ができるようにする	子ども 親	多様な運動クラブの活動を子どもや親に紹介するなどして、参加するクラブを選択できるようにする(あわくら探検クラブ、スポーツ少年団、チアリーディング等)	既存	教育委員会 保健福祉課	
	地域学校保健委員会、養護部会での休養の啓発	乳幼児 託児所 幼稚園 小学校 中学校	地域学校保健委員会では、2年ごとに重点テーマを設定し、学校医、学校歯科医師、薬剤師、託児所、幼稚園、小学校、中学校、教育委員会、PTA、母子保健と連携し、子どもの健康の保持増進に関わる重点テーマを設定し課題解決の活動を連携して行う。そのテーマとして、「休養」を取り上げることを検討する。 養護部会は、幼稚園、小学校、中学校の養護教諭、教育委員会、保健福祉課が子どもたちの健康づくりについて課題解決を連携して行う。	既存	託児所 幼稚園 小学校 中学校 教育委員会 保健福祉課	

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
心も体も休養 できる	健康相談の充実	働き盛り 高齢者	健康診断の後の健康相談を充実することで、住民に休養の大切さを伝え、取り方を相談することができる。	既存	保健福祉課	
	介護保険制度・各種サービスの おお知らせ 介護支援の充実と啓発	働き盛り 高齢者	介護支援のサービス充実を図ると共に、介護保険制度のサービスの村民に紹介することで家族や本人が安心して生活ができる。	既存	保健福祉課	高齢者保健 福祉計画 介護保険事 業計画
	地区サロン、中央サロンの充実	高齢者	地区サロン、中央サロンで、おしゃべりや運動、学習などを地域の皆さんと一緒に に行い、安心や癒やしの時間を過ごす。	既存	社協 保健福祉課	高齢者保健 福祉計画 介護保険事 業計画
	体育協会・文化協会の活動 支援	働き盛り 高齢者	体育協会…村内の体育・スポーツに関わる団体が集まり、自らの体育・スポーツ活動だけでなく、体育・スポーツの普及振興に関する事業を行い、村民の体力向上を図る。 文化協会…村民が自主的な文化活動の多様なグループを設け、活動を展開している。グループの加入する団体として文化協会があり、ふれあいまつりなどの中核となっている。活動支援を教育委員会が行っている。	既存	体育協会 文化協会 教育委員会	教育振興計 画 子ども計画
	介護予防事業 介護サービス事業	高齢者	個別リハビリ、リハビリ教室へ参加して運動を行う。 通所介護サービスで、体操やレクレーションにより、運動支援を行う。	既存	保健福祉課 社会福祉協議 会	高齢者保健 福祉計画 介護保険事 業計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
心の元気を保つことができる	ブックスタート事業	0～3歳までの子どもと親	本を通して親子のふれあいを家庭でできるように、乳幼児健診の時に全ての0歳児から3歳までの親子に絵本を贈り、家庭での読み聞かせの良さを仕方伝える。	既存	教育委員会 読み聞かせボランティア「ピッピの会」	教育振興計画 子ども計画
	勝英地域自立支援協議会のペアレントトレーニング	障害児の親	発達に障害をもつ子どもの親が、子どもとの関わり方や子育てについて学ぶ。親同士のつながりもつくる機会として活用する。	既存	勝英地域自立支援協議会 保健福祉課	障害者計画
	文化協会の活動	働き盛り 高齢者	村民が自主的な文化活動の多様なグループを設け、活動を展開している。グループの加入する団体として文化協会があり、ふれあいまつりなどの中核となっている。活動支援を教育委員会が行っている。	既存	文化協会 教育委員会	教育振興計画 子ども計画
	体育協会の活動	働き盛り 高齢者	村内の体育・スポーツに関わる団体が集まり、自らの体育・スポーツ活動だけでなく、体育・スポーツの普及振興に関する事業を行い、村民の体力向上を図る。教育委員会は、活動支援を行っている。	既存	体育協会 教育委員会	教育振興計画 子ども計画
	地区サロン活動での健康活動支援、共同調理、会食の支援	高齢者	地区サロンで、高齢者同士での健康学習、体操などの活動、共同での献立づくりや調理、会食などの活動を支援する。このことで、地区でのつながりづくり、互いの見守り支え合いの意識づくりを行う。	既存	社会福祉協議会 保健福祉課	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	妊産婦・乳児・幼児への訪問・面接	妊産婦 乳児 幼児	妊産婦、乳児及び幼児への訪問・面接により、育児の不安や心配ごとを相談する。 妊産婦及び子どもの心の病気も早期発見し、相談支援していく。	既存	保健福祉課	子ども計画
	小児科健診での育児ストレス支援	子ども	小児科健診で親へストレスに関わる子育てアンケートを実施。アンケートを参考に個別相談を行う。ストレスの高い場合や養育に課題のある場合、訪問面接等の継続した支援を行う。	既存	保健福祉課	子ども計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
心の元気を保つことができる	子育て相談事業による連携支援の体制	乳幼児 託児所 幼稚園 小学校 中学校 の親子と教 員	心理士と母子・子育て支援部署が、子どもの成長発達、養育、子育て上の困りごとに子どもや保護者へ相談支援を行う。託児所、幼稚園、小学校、中学校と連携支援も行う。定例相談日に加え、必要時適宜、心理士の相談支援を行える体制をもつ。	既存	保健福祉課 教育委員会 託児所 幼稚園 小学校 中学校	子ども計画 教育振興計 画
	スクールカウンセラー等の相談体制	小学校 中学校 の児童生徒、 親	中学校等へ定期的に児童生徒に対する相談のほか、保護者及び教職員に対する相談、教職員等への研修、多岐にわたり、学校の教育相談を行う。さらに深刻なケース等はスクールソーシャルワーカーやスクールソーシャル・パートナーを県から派遣してもらい対応する。	既存	教育委員会	教育振興計 画 子ども計画
	教育ネットワークでの縦のつながりを大切にした教育活動	託児所から 中学校まで の 子ども	託児所、幼稚園、小学校、中学校の連携を強化するため、ネットワークを設け、切れ目ない総合的な教育を検討、協働した活動を行う。その中で、子どもたちの年齢、学校を越えたつながりのある連携活動、授業を行う。	既存	託児所 幼稚園 小学校 中学校 教育委員会	教育振興計 画 子ども計画
	村の健康相談	働き盛り 高齢者	総合健診、診療所健診の結果、生活習慣病になりかけていることが判明した人に、保健師・看護師による健康相談を行い、生活習慣の改善を図る。社会保険加入者の健康相談も同様に行う。	既存	保健福祉課	
	お酒の悩み相談(断酒会)	働き盛り	津山断酒新生会が相談日を設け、飲酒に関するあらゆる悩みの相談を受け	既存	津山断酒新生 会 保健福祉課	
	保健所の精神保健福祉相談 (心の健康相談)	働き盛り	不登校、アルコール依存、うつなど心の悩み、病について、精神科医師、保健師が相談に応じる。	既存	美作保健所 勝英支所	障害者計画
	保健所の精神保健福祉相談 (思春期相談)	思春期の子 ども、親	ひきこもり、不登校、摂食障害、対人関係など思春期に特有な心の問題・悩みに対して、精神科医師、保健師が相談に応じる。	既存	美作保健所 勝英支所	障害者計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
心の元気を保つことができる	自殺予防研修会	働き盛り	高齢者や精神的不調を持つ人など、自殺のリスクがある人を、地域での日常的な声かけや集まりの場、関係機関の窓口で支えるために、一般住民・保健福祉関係者を対象に、支援方法を学ぶ研修会を行う。	既存	保健福祉課	障害者計画
	認知症サポーター研修	全村民	できるだけ多くの村民の方に、認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者(サポーター)になってもらうための研修を行う。サポーターは、自分のできる範囲で認知症の人や家族を支える活動を行う。養成研修の企画は、講師役(キヤラバンメイト)として養成された人の集まり「1600きずなの会」が行う。	既存	認知症キヤラバンメイト1600きずなの会 保健福祉課	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	「元気になろうや フェスタ」開催	全村民	心の病の当事者、ボランティア、保健福祉関係職員が協働で企画し、心の病と支え合いについて、普及啓発していくフェスタを行う。	既存	元気になろうや実行委員会 美作保健所 英支所 保健福祉課	障害者計画
	精神障害者家族会	働き盛り	精神障害の当事者と家族が、相互に理解し支え合い、つながりをつくる活動を行う会。勝英地域の複数の会の連合会として、「やまなみ会」がある。	既存	やまなみ会 美作保健所 英支所	障害者計画
	介護者家族会	働き盛り 高齢者	要介護認定者などの高齢者を介護する家族の会。日常の介護の出来事や気持ちを伝え合い、支え合う活動を行う。	既存	保健福祉課	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	障害者総合支援法に基づく精神相談支援事業	全村民	心の病の当事者、家族の自宅に、専門の相談員が訪問し、日常の悩み、問題を共に考え、関係機関と連携しつつ解決を図る事業。	既存	専門相談員 保健福祉課	障害者計画
	精神保健福祉センター・保健所・村から精神障害者等へ家庭訪問	働き盛り 高齢者	心の病の当事者のうち、病のため医療機関の受診が困難な人とその家族に、精神保健福祉センター精神科医、保健所保健師、村職員が定期訪問する。	既存	精神保健福祉センター 保健所 保健福祉課	障害者計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
心の元気を保つことができる	通所型予防介護サービス事業、地域介護予防活動支援事業	高齢者	介護保険の要支援認定者、基本チェックリストによる事業該当者になった人を対象に、通所により参加者同士の交流、体操、筋力トレーニング、レクリエーション、健康教育などを行い、運動・認知機能の維持向上を図る取組を行う。	既存	保健福祉課	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	65歳の会「ろくご会」	65歳世代	「65歳」を高齢期の入り口と捉え、高齢期の新たな健康づくりを始めるきっかけをつくる。併せて、後期高齢者を支える意識づくりとなる取組を行う。	既存	保健福祉課	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	物忘れ健診	高齢者	特定健診、高齢者健診に併せて、65歳以上の高齢者全て(要介護認定者は除く)にタッチパネル形式の物忘れ健診を行い、認知症の早期発見対応の支援につなげる。	既存	保健福祉課	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	地域包括支援センターの訪問・面接による相談支援	高齢者	村地域包括支援センターが高齢者宅に訪問又は面接し、高齢者が社会参加を維持するための生活の組み立て、関係機関との連携支援、福祉サービスの提供の調整などを行う。	既存	地域包括支援センター	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	子育てカレッジ(子どもの成長段階に応じたコミュニケーション、ストレス・感情との付き合い方、夫婦間のコミュニケーションなど)	妊産婦 乳幼児の両親 妊娠前の夫婦 祖父母 地域ボランティア	これから出産予定の男女や乳幼児を持つ親が、妊娠中から育児以降まで親子が健康で楽しく子育てするための学習と親同士のつながりの機会をつくる。学習の中で、子どもの成長段階に応じたコミュニケーションのコツ、ストレス・感情との付き合い方、夫婦間のコミュニケーションなどを学ぶ。併せて、祖父母、地域の子育てボランティア希望者が、子育て中の親子の支援方を学びつつ、親子とつながりをもつ機会をつくる。	既に予定	保健福祉課 教育委員会	子ども計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
人と人のつながりがりをつくる ことができる	あいさつ運動	全村民	人との関わりの基本となる、あいさつ運動を村全体で進めていく。	既存	託児所 幼稚園 小学校 中学校 教育委員会	教育振興計 画 子ども計画
	ブックスタート事業	0～3歳まで の子ともと親	本を通して親子のふれあいを家庭でできるように、乳幼児健診の時に全ての0歳児から3歳までの親子に絵本を贈り、家庭での読み聞かせの良さを仕方伝える。	既存	教育委員会 読み聞かせポ ラランティア「ピ ピの会」	教育振興計 画 子ども計画
	読み聞かせボランティア「ピ ピの会」の活動	0歳～小学生 までの子ども	読み聞かせボランティア「ピピの会」と教育委員会が連携し、ブックスタートや図書館、幼稚園、小学校での読み聞かせ活動を行う。	既存	読み聞かせの ボランティア 「ピピの会」 教育委員会	教育振興計 画 子ども計画
	ふれあひ体験学習	中学生	中学生が乳幼児とその親や幼稚園児とふれあひ活動を通して、将来、親になるための学習を行う。	既存	保健福祉課 中学校 教育委員会	教育振興計 画 子ども計画
	男女共同参画事業	全村民	男女が家庭や社会で協力し合う大切さや方法について普及啓発活動を行 う。	既存	総務企画課 保健福祉課	子ども計画
	スポーツ少年団 (少年団を支える活動)	小学生	子どもたちに地域を基盤としたスポーツの場を提供することにより、正しいス ポーツを計画的、継続的に実践し、子どもたちを健全に育成するための組織 活動。 ソフトボール、バレーボール、スキーなど。 地域の大人、親が、子どもたちの活動を見守り支える。	既存	スポーツ少年 団 教育委員会	教育振興計 画 子ども計画
	あわくら探検クラブ (クラブを支える活動)	小学生 中学生	「西栗倉のすべてで遊ぼう、西栗倉のすべてから学ぼう!!」をモットーに小・中 学生を対象にボランティアの協力も得て西栗倉村の山や川の自然で遊び体 験活動を行う。 地域の大人が子育てボランティアとして子どもたちの活動をサポートする。	既存	小学校 中学校 教育委員会	教育振興計 画 子ども計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
人と人のつながりがりをつくる ことができる	読書環境を豊かにする図書 読書館づくり	全村民	図書館司書を中心に、子どもから高齢者までが本に親しみ、読書を通じて学び利用しやすい図書館づくりを行う。他世代のニーズを捉えた蔵書の充実をはかる。	既存	教育委員会	教育振興計画 子ども計画
	音楽、芸術の鑑賞会	幼稚園 小学校 中学校の 子ども	幼稚園、小学校、中学校等で音楽や演劇など文化的な活動にふれる機会をつくる。	既存	幼稚園 小学校 中学校 教育委員会	教育振興計画 子ども計画
	文化協会の活動	働き盛り 高齢者	村民が自主的な文化活動の多様なグループを設け、活動を展開している。グループの加入する団体として文化協会があり、ふれあいまつりなどの中核となっている。活動支援を教育委員会が行っている。	既存	文化協会 教育委員会	教育振興計画 子ども計画
	体育協会の活動	働き盛り 高齢者	村内の体育・スポーツに関わる団体が集まり、自らの体育・スポーツ活動だけでなく、体育・スポーツの普及振興に関する事業を行い、村民の体力向上を図る。活動支援を教育委員会が行っている。	既存	体育協会 教育委員会	教育振興計画 子ども計画
	65歳の会「ろくご会」	65歳世代	「65歳」を高齢期の入り口と捉え、高齢期の新たな健康づくりを始めるきっかけをつくる。併せて、後期高齢者を支える意識づくりとなる取組を行う。	既存	保健福祉課	高齢者保健 福祉計画 介護保険事業 業計画
	おもりの体操教室	高齢者	体力に合わせて重さを選べる錘を手首、足首に取り付けて体操を行う教室。運動機能の維持向上に役立つ筋力トレーニングになる。	既存	保健福祉課	高齢者保健 福祉計画 介護保険事業 業計画
	つどいの広場「バンビ」	妊婦 出産後から 幼稚園入園 前の親子	妊婦から入園前の親子が集まり、子どもを安全に遊ばせることができたり、子育てについて情報交換できる場の提供。また、子育てについて学んだり、保健師による子育て相談を行ったり、おやつづくりや季節の行事など参加することで、子育ての孤立化を防ぐ。子育て用品の無料レンタルや子供服等のリサイクル等を行う。	既存	託児所 教育委員会	子ども・子育て 事業計画 子ども計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
人と人のつながりがりをつくる ことができる	幼稚園の解放によるつながりづくり	幼稚園入園前の親子	月1回幼稚園入園前の親子が、幼稚園の活動に参加でき、幼稚園生活を体験することで、子どももスムーズに入園でき、親同士もつながりをもつ機会ができる。	既存	幼稚園	子ども計画
	放課後児童クラブ	小学生	親が仕事で日中家にいない家庭の小学生を対象に、授業終了後、遊び及び生活の場を用意して健全な育成を図る。学習や体験・交流活動も行う。	既存	教育委員会	子ども・子育て 事業計画 子ども計画
	ふるさと元気学習	託児所から 中学校までの 子ども	ふるさとの豊かな自然や人とのふれあいかから学び、子どもたちの人間力を高めることで、ふるさとを元気にする学習。ふるさとの山や川で遊び、五感を感じ豊かな感性を育む。また豊かな人間性、自ら学び自ら考える力など生きる力の基礎をつくる。 森の元気教室、沢たいけん、森のおくりものがし、五感トレーニング、村たんけん、ふるさと元気ウオーキング、森林体験学習、あわくら大学・ゆうゆうハウス訪問、村内・村外へ村の魅力発信等	既存	託児所 幼稚園 小学校 中学校 産業観光課 教育委員会	教育振興計 画 総合振興計 画 子ども計画
	母子クラブ「若杉会」	幼稚園入園前の子どもと親	幼稚園入園前の子どもと親による自主的な子育ての集まり。	既存	若杉会 保健福祉課	子ども計画
	西栗倉村教育ネットワークを活用した学校の内閣で上下のつながりある活動	託児所から 中学校までの 子ども	託児所、幼稚園、小学校、中学校の連携を強化するため、ネットワークを設け切れ目ない総合的な教育を検討、協働した活動を行う。その中で、子どもたちの年齢、学校を越えたつながりのある連携活動、授業を行う。	既存	託児所 幼稚園 小学校 中学校 教育委員会	教育振興計 画 子ども計画
	生活応援センター楽々事業	全村民	主に高齢者が、日常生活の家事などの困りごとを、ボランティアが支える取組。高齢者とボランティアのつながりができる。ボランティアの発掘、学習支援、利用者とのマッチングなどボランティアセンターの機能をもつ。	既存	社会福祉協議会	高齢者保健 福祉計画 介護保険事 業計画
	学校支援ボランティア	働き盛り 高齢者	地域の人が特技や趣味、体験を活かしてできることを学校教育活動に参加・協力し、子どもたちの体験の幅を広げるためのボランティア活動。下校での見守り支援も行っている。	既存	託児所 幼稚園 小学校 中学校 教育委員会	教育振興計 画 子ども計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
人と人のつながりがりをつくる ことができる	社会福祉協議会事業(ロマン会、サテライト)	高齢者	独り暮らし高齢者の会(ロマン会)、地区ごとのミニデイサービスを行うことで、高齢者同士、一緒に話したり食事をしたりする機会を提供する。	既存	社会福祉協議会	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	地区サロンでの健康活動、共同調理と会食の支援	高齢者	地区サロンで、高齢者同士での健康学習、体操などの活動、共同での献立づくりや調理、会食などの活動を支援する。このことで、地区でのつながりづくり、互いの見守り支え合いの意識づくりを行う。	既存	社会福祉協議会 保健福祉課	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	村地域包括支援センターの訪問	高齢者	村地域包括支援センターが高齢者宅に訪問し、高齢者が社会参加を維持するための生活の組み立て支援、福祉サービスの提供の調整などを行う。	既存	地域包括支援センター	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	社協ミニヘルパーの訪問	高齢者	見守り専門のヘルパーが、見守りを要する高齢者宅を訪問し、声かけ、困りごとの相談、地域包括支援センターへの連絡などを行う。	既存	社会福祉協議会	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	認知症サポーター養成研修	全村民	できるだけ多くの村民の方に、認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者(サポーター)になってもらうための研修を行う。サポーターは、自分のできる範囲で認知症の人や家族を支える活動を行う。養成研修の企画は、講師役(キヤラバメンテ)として養成された人の集まり「1600きずなの会」が行う。	既存	認知症キヤラバメンテ1600きずなの会 保健福祉課	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	通所型予防介護サービス事業、地域介護予防活動支援事業(健やかかりハビリ教室、口の健康教室)	高齢者	介護保険の要支援認定者、基本チェックリストによる事業該当者になった人を対象に、通所により、参加者同士の交流、体操、筋力トレーニング、レクレーション、健康教育などを行い、運動・認知機能の維持向上を図る取組を行う。	既存	保健福祉課	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
	学校・園行事を子どもから地域に発信	全村民	託児所、幼稚園、小学校、中学校の行事への参加を広報や文字放送だけでなく、子どもたちから地域の大人に呼びかける取組。参加した大人と子どもとの交流、中学校の学習発表会への村民参加など。	既存	託児所 幼稚園 小学校 中学校 教育委員会	教育振興計画 子ども計画

目 標	事業名	対象	事業概要	既存・既に予定	主管課・機関	関係計画
人と人のつながりをつくる ことができる	スポーツ推進委員と協働事業	働き盛り 高齢者	村民誰もが、自分のしたいスポーツを始め続けることのできる環境、取組をつくる。	既に予定	スポーツ推進 委員 教育委員会	
	多様な運動・スポーツの機会・場・環境整備の検討会	全村民	村民誰もが、自分のしたいスポーツを始め、続けることのできる環境、取組を検討する。	既に予定	スポーツ推進 委員 有志 教育委員会 保健福祉課 社会福祉協議 会	
	子育てボランティアの学習	高齢者	子育て支援のボランティアするのを希望する人が年齢に関わらず、家庭、地域、行事など多様な場で多様な活動を行えるようになるために、学習の機会をつくる。	既に予定	社会福祉協議 会 教育委員会 保健福祉課	子ども計画
	子育てカレッジ(妊産婦、両親、妊娠前の夫婦、ボランティア)	妊産婦 乳幼児の両親 妊娠前の夫婦 祖父母 地域ボラン ティア	これから出産予定の男女や乳幼児を持つ親が、妊娠中から育児以降まで親子が健康で楽しく子育てするための学習と親同士のつながりの機会をつくる。 併せて、祖父母、地域の子育てボランティア希望者が、子育て中の親子の支え方を学びつつ、親子とつながりをもつ機会をつくる。	既に予定	保健福祉課 教育委員会	子ども計画